

校長室だより
NO. 10
平成30年5月21日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

大運動会に向けて6年生とともに歩む教師

いよいよ大運動会まで1週間となりました。各学年の競技や演技の練習は着々と進められています。子どもたちの意気込みも徐々に強く確かなものになってきているのを感じるようになってきました。この一連の営みを通して、子どもたちの成長を願い、子どもたちとともに歩み、創り上げる大運動会としていきたいと思ひます。どうぞ、ご家庭でもご支援をいただき、大運動会には多くの保護者の方々のご来校をお願いいたします。

さて、今回は、6年の学級担任の指導記録を掲載しました。この記録文から、まさに大運動会を子どもとともに歩み、創り上げようとする姿を感じていただければと思います。現在、このような姿が全校の至る所に見られ始めています。これをさらに広げていき、子どもにとって思い出に残るすばらしい大運動会にしていきたいと考えています。



全女子「竹取り」の練習風景より

学級の子もたちがとてもやる気を出して、運動会の練習に取り組んでいます。「先生、次、組立の練習をやりたいのです」「体育は何時間目ですか？外でできますか？」「早くやろうよ」と声をかけてきます。こんなにも直接的にやる気を見せてくる子どもたちの姿を見るのは初めてで、正直言って驚いています。とてもとても教師としてうれしく思っています。

また、サボテンがうまくできない子どもたちが、自ら寄って来て、「先生、教えてください」「うまくできないから、練習時間をください」と言ってきます。このようなできない自分を進んで変えようとする姿が、いろいろな所でたくさん見られるようになってきました。これは、うまく演技ができる子どもを目指して、その演技を子ども一人一人が、自分としてうまくやりたいという強い思いがあることがかかわっていると思ひます。

実を言ひますと、子どもたちは運動会の練習に取り組む中で、マイナスのイメージをずっと持っているかと思ひていました。しかし、自分の考えはいい面と違っていましたし、それと同時に、6年生としても、その自覚を持って、そのやる気を発揮してやり始めていることが伝わってきています。

この子どもたちの前向きな気持ちを何としてでも、成功に導かなければなりません。

ん。そのためには、やはり、もう少し、子どもにとっても私自身にとっても厳しい気持ちで練習を進めて、よりよくしていかなければならないと思っています。

(以下、略)

大運動会の練習が進む中で、それを前向きに取り組もうとする子どもたち。「練習をやりたい」「早くやろうよ」、また「教えてください」「時間をください」と、教師に求めるほどになってきています。その姿は、「自分を進んで変えようとする姿」につながり、現在、全校に広がりつつあります。また、その過程では、「演技がうまくできる子ども」を意識して自らの思いを確かにしたり、仲間同士で教え合ったりするなどの、かかわり合う姿となっています。子どもたち自身でも目標を持って力を合わせていることが分かります。そして、そのような中で、特に6年生は自分のことだけではなく、学校のリーダーとしての自覚を持ち始めてきているようです。



6年学級対抗リレーの練習風景

これらの姿は、前号でお知らせした本年度の大運動会スローガン「わたしのチャレンジ ゆめへの一歩」のまさに「わたしのチャレンジ」に当たります。子どもたちの代表がつくった全校のスローガン（目標）を、子どもたちが実践していることに、その意味を強く感じています。また、その「チャレンジ」は、少し大げさかもしれませんが「ゆめ」につながっていきます。すなわち、子どもたちが自らをよりよくする方向へと連続させているのです。

ここに、子ども自らが価値判断と意思決定をして、主体となって活動し、自分たちの大運動会を創り上げようとしていることが分かるようです。この姿は、本校の教育の求めるところであり、大運動会という行事を通して、子どもの成長を期待できると確信しています。そうなれば、私たち教師としてこの上もなくうれしいことになっていきます。

しかし、教師は、うれしい気持ちを持ちつつも、現状に満足してはいません。そのような「子どもたちの前向きな気持ち」にこたえるためにも、また、子どもたちにとっての「大運動会を成功に導く」ためにも、気を引き締めて「厳しい気持ち」で取り組もうとしています。その教師の「だからこそ」の思いと働きかけこそが教育には大切と考えます。ここには、目の前の子どもたちの自己実現を支えようと、自らも厳しく取り組もうとする教師がいます。



全男子「帽子取り」の練習風景より

このような指導の記録文と出会いますと、私自身もうれしくなり、子どもたちの成長を願わずにはいられなくなります。そして、自ずと期待や応援をしたくなってきます。現在、そんな思いにさせてくれる大運動会に向けた練習が続いています。大運動会まで、子どもたちはどのような活動を見せてくれるでしょうか。ご家庭でもご期待いただければ幸いです。結果が楽しみになる活動はいいですね。そのような努力を積み上げていきたいものです。